

# 平成20年度 鈴鹿市立加佐登幼稚園研修計画

本年度の 研修主題	主 題	ふれあい 気づき ひびき合おう —生活の中で人や物とかかわりながら、協同的な学びへ—
	領 域	全領域

## 1. 主題設定の理由

- 子どもたちは、明るく活発であるが、社会環境の変化に伴い人間関係が希薄化し、心を動かす生活体験や遊びの機会が少なくなっている。そのため、受け身的な姿や周りの大人に依存する傾向にある。そこで、同年齢や異年齢の人に会いながら、様々な感情体験が積み重ねられ、生活が広がっていくのではと考えた。
- 当園では、子どもたちの姿や保護者の思い、地域性を的確にとらえ、意図的・計画的に環境を整え、援助のあり方を再確認しながら取り組んでいきたいと考えた。その中で自ら考え、主体的に動き、ひびき合える豊かな心をもった子どもの育ちにつながっていくと考え、主題を設定した。

## 2. 子どもにつけたい力

- 身近なものに興味や関心をもち、意欲的に取り組もうとする力
- 人とかかわり、表現する力
- 相手の思いに気づき、受け入れようとする力
- 葛藤や挫折を乗り越えようとする力

## 3. 本年度の指導の重点

- 一人一人の居心地のよい場所を探し、温かい雰囲気の中で子どもの心を開かせ、園生活に安心感もてるように援助していく。
- 身近な人とかかわりの中で、感情体験を大切にし、心の育ちをとらえる。
- 目的をもち考え、行動している姿を認め励まし、自己肯定感を育てるようにする。

## 4. 具体的な方策

- 日々の姿や実践記録を通して全職員で十分話し合い、一人一人の子どもを共通理解していく。
- 二年保育の特性を活かし、園内で異年齢の交流を計画的に取り入れていく。
- 家庭と園が互いに考えや思いを出し合いながら、相互理解を深め、子どもの育ちを援助していく。
- 身近な環境の工夫と整備をし、豊かな体験活動ができるようにする。
- 外部評価を実施し、地域に根ざした園づくりをしていく。

